

280MHz デジタル同報無線システムの整備について

1. 概要

災害時の情報伝達手段として、音声告知放送、文字放送、安全安心メール、緊急速報（エリア）メール、地域自主組織（自主防災組織）や自治会への電話連絡、広報車、ホームページ（雲南市公式アプリを含む）、報道メディア等を活用することとしています。

さらに、災害時における停電や断線も想定し無線による通信手段の確保が必要であることから、情報伝達の多重化を図ることとし、280MHz デジタル同報無線システムの整備を計画しました。

2. 経過及び予定

平成29年度	280MHz デジタル同報無線システムの基礎調査を実施
令和元年度	同システムの実施設計業務を実施 同システム工事の発注・着手（工期は令和3年3月まで）
令和3年度	戸別受信機（防災ラジオ）の説明・配布、運用試験を実施後に運用開始

3. 整備事業費について

事業費総額：1,237,982千円

財源は、緊急防災・減災事業債を活用予定（充当100%、交付税算入率70%）

【整備内容】（資料No.1参照）

280MHz デジタル同報無線システムは、ポケットベルで使用していた周波数帯を利用したものであり、パソコンから発出した文字情報を衛星回線（一部LTE回線）及び地上回線を介し、送信局から屋外拡声子局（外部スピーカ）及び戸別受信機（防災ラジオ）に配信し、音声情報に変換するものです。出力、電波特性等に優位性があり、2箇所の送信局で概ね市内全域（100%）をカバーする予定です。

- (1) 送信局2局 女三瓶山、高瀬山
- (2) 配信局2局 主配信局：市役所本庁舎、副配信局：雲南消防本部庁舎
- (3) 屋外拡声子局（外部スピーカ）131局
- (4) 戸別受信機（防災ラジオ）14,400台

（うち、文字表示型300、外国語対応型100）

※戸別受信機については、各世帯へは無償貸与とし、さらに公共施設等（指定避難所、福祉避難所を含む）へ設置します。

- (5) システム連携 音声告知放送、安全安心メール、緊急速報（エリア）メール、Jアラート、消防指令システム、雲南市公式アプリ 等

280MHzデジタル同報無線システム

